

# 新年のごあいさつ



登別市議会議長  
天神林 美彦

新年あけましておめでとうございます。  
年頭にあたり登別市議会を代表し、市民の皆さまに謹んでごあいさつを申し上げます。  
市民の皆さまにおかれましては、希望にあふれた新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。  
また、日ごろから議会活動に対し特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
さて、現在、登別市議会では、今後における議員定数と議員報酬などについて協議を行っており、昨年10月にはこれらをテーマに市民会館において議会フォーラムを開催し、有識者による基調講演や議員の勉強会、参加いただきました市民の皆さまとの意見交換などを行ったところでございます。  
今後におきましても、市民の皆さまからのご意見などを十分お聞きして活発な議論を重ね、今後の登別市における議員の役割やあり方なども協議しながら、次期改選からの実施に向けて取り組んでまいります。  
また『登別市議会基本条例』にのっとり、これからも引き続き市議会の改革・活性化に取り組みながら、市民と協働する議会を目指し、全力を尽くしてまいります。  
結びに、市民の皆さまにとりまして、本年もご健勝で明るく、幸せにみちあふれた実り多き年となりますことを心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



登別市長  
小笠原 春一

新年あけましておめでとうございます。  
市民の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
昨年は、登別温泉の宣伝と誘客を目的に始まった登別地獄まつりが半世紀の節目を迎え、観光客や各団体、町内会をはじめとする多くの皆さんとともに盛大に開催することができました。  
『第50回登別地獄まつり』と併せて行った宮城県白石市との『姉妹都市提携30周年記念式典』では、白石市をはじめ、『トライアングル交流都市』の神奈川県海老名市、登別市と同じく白石市とのご縁で交流している札幌市白石区の皆さんにもご出席いただき、各まちと一層の交流を誓い合うことができました。  
また、消防は登別温泉青年会消防部の発足から100年の節目を迎え、今後とも市民の安全・安心に努めるほか、登別消防・火の用心キャラクターの誕生など、市民に親しまれる消防を目指してまいります。  
本年も、地域と地域、人と人の結びつきを大切にしながら、市民本位の『のぼりべつ』を創り上げるため、決意を新たにして市政の推進に努めてまいります。  
本年が皆さまにとって、幸多き年であることを祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。